

ISO/IEC WG21 (IT Asset Management/IT資産管理)  
WG 21 国際会議出席報告書

2023年7月21日

島田 (デロイトトーマツ)  
報告者氏名 : 高橋快昇 (ITAMLAB)

**1. 開催場所 : 岡山**

**2. 開催期間 : 2023.6.6-8**

**3. 参加国数/出席者数 :**

岡山参加者 : コンビナー 米 (1), 独 (1), 仏 (1), 日本 (1), SAMAC(1)

リモート参加者 : 米(2), インド(2), カナダ(1), ドイツ (1), 英(2), ベルギー(2), ITAMForum(1)

**4. 審議事項 :**

**4.1 IS 審議**

- ISO/IEC 19770-1 : 202x 第 4 版 (要求事項) : まだ、NP 前で内容のデザインについて案が報告された。Tier から FinOps のようなフェーズアプローチに。ISO 55000 (資産管理) からの脱却。推奨プロセスの詳細化 (15 プロセス→ 29 プロセス) などが検討されている。

3 <sup>rd</sup> エディション 15プロセス	
ITアセットライフサイクルマネジメントプロセス	
仕様	
調達	
開発	
リリース	
配付	
運用	
廃棄	
ITアセット機能的マネジメントプロセス	
変更のマネジメント	
中核データマネジメント	
ライセンスマネジメント	
セキュリティマネジメント	
関係と契約マネジメント	
財務マネジメント	
サービスレベルマネジメント	
他のリスクマネジメント	



検討中の4 <sup>th</sup> エディション 26プロセス		FinOpsの3 Phases
資産データの可視性と可用性	ディスカバリー&インベントリ	Inform (Visibility & Allocation)
正規化	購入取引の詳細	Optimize (Rates & Usage)
権利/所有権	権利/所有権	Operate (Continuous Improvement & Operations)
メタリング/使用状況	メタリング/使用状況	
需要予測	需要予測	
資産分析	支出と権利	
	消費と使用量	
	現在および将来のニーズ/需要	
	環境の持続可能性	
	リスクと機会	
財務・経営管理		
資産の適切なサイジング	支出と権利	
	消費と使用量	
	契約条件	
	環境への影響	
資産ライフサイクル管理	要求と承認	
	開発とリリース	
	調達と割り当て	
	展開とプロビジョニング	
	監視とメンテナンス	
	プロビジョニング解除と廃棄	
監査管理		
契約&更新管理		
ベンダー管理		
ツール&オートメーション管理		
データ品質管理		
セキュリティ管理		
ITサービス管理		



報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2229\_19770-1 Discussion - Okayama 2023 - Ron Brill.pdf」

- ISO/IEC 19770-2 : 202x 第 3 版 (ソフトウェア識別タグ) 、ISO/IEC 19770-3 : 202x 第 2 版 (権利スキーマ) 、ISO/IEC 19770-4 : 202x 第 2 版 (資源利用測定) の 3 つの規格については改

版が予定されているが（－2はかなり進んでおり、JSON表記を追加するだけのレベル）、タグ間連携の方針が明確になつてないため、改版作業が保留になっている。

- ISO/IEC 19770-5 : 202x 第3版（概要及び用語）：NP投票が必要かどうかの判断が米国のNBとISOの事務局で異なっていたため遅れていたが、NP投票が不用であることで解決した。CD投票から行われる。今後の予定は以下のようになる。  
CD投票:2023年6月12日, DIS投票:2023年11月6日, 発行: 2024年3月4日
- ISO/IEC 19770-6 : 202x 第1版（ハードウェア識別タグ）：DIS投票で否定的コメントがなかったので今回の会議でコメント対応を行う予定であったが、エディターの都合で次回のマンスリーミーティング（7月最終週の水曜日）で行うことになった。このコメント処理後、ただちにISとして発行される予定。

## 4.2 TS審議

- ISO/IEC 19770-7 : 202x 第1版技術仕様（タグオーケストレーション）：タグ間連携とクラウドでの利用方法を今回の会議で提示することになつてたが現状の問題の再報告だけに終わり、あまり進んでいない。報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2234\_ISO19770-7 - Okayama Plenary.pdf」
- ISO/IEC 19770-9 : 202x 第1版技術仕様（ITAMインベントリスキーマ）：内容のデザインが報告された。進捗は遅いが着実に進んでいる。—7の進捗へも寄与するので—7の検討にも加わることが決まった。報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2231\_Inventory Definition ISO June 2023 update.pdf」
- ISO/IEC 19770-10 : 202x 第1版技術仕様（ITAM導入ガイダンス）：今までエディターであったDavidがWG21退任のため、変わってエディターになったStephaneがWDの紹介を行った。NP投票が承認されたばかりであるが、一緒に提出されたWDはまとまっている。ガイダンスはITAMの知識を前提としたかなり専門的な内容となっている。寄稿者もSWGのメンバーだけでなくWG21の他のSWGすべてに及んでいる。Davidが30数名のエキスパートを上手くまとめ、多くの投稿内容を統一した形式に仕上げている。報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2228\_20230605\_19770-10\_Ed 1 presentation.pdf」
- ISO/IEC 19770-12 : 202x 第1版技術仕様（オープンソース・仮想コンテナ）：WG21の幹事であり、当プロジェクトのエディターであったTrentが別の企業に転職したのでWG21としては当面保留し、エディターを募集する。
- ISO/IEC 19770-13 : 202x 第1版技術仕様（サステナビリティ）：ITAMフォーラムのSustainabilityに関するSIG（Special Interest Group）の協力で本WGは順調に進んでいる。現状は、関連するISO標準の調査段階である。今年は、ITAMにおけるSustainability管理の教育、19770-1で定義されているIT資産に対するSustainabilityの標準の採用、PDCAと管理目的の定義、IT資産の機能プロセスとライフサイクルプロセスにおけるSustainability管理のインターフェースの仕様、実施状況の測定方法とKPIの定義等を行う予定。報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2233\_ITAM and Sustainability\_Final.pdf」

## 4.3 SWGの状況

- ITAM Charter & WG21 Strategy：特に報告はなかつたが継続する
- ITAM Implementation Guidance：ISO/IEC 19770-10として継続
- ITAM and Cybersecurity：継続
- ITAM OpenSource & Virtual Containers：閉鎖。ISO/IEC 19770-12は新たにボランティア募集。
- ITAM and Sustainability：ISO/IEC 19770-13として継続

- ITAM and FinOps : 繙続

#### 4.4 リエゾン報告

- SAMAC 報告 : 添付資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2232\_SAMAC Report 2023\_Plenary.pdf」で報告
- ITAM Foram : 添付資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2242\_JUN 2023 Plenary - ITAM Forum.pdf」で報告

#### 4.5 19770-10 ガイダンスの紹介

報告資料「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2228\_20230605\_19770-10 Ed 1 presentation.pdf」で説明されたが、ITAM を導入するときに非常に役に立つガイダンスなのでその内容を紹介する。

全体の構成は次のようにになっている。

- 箇条 1, 2, 及び3. ISO規格の箇条(適用範囲, 引用規格及び用語)
- 箇条 4. 考えられる用語の問題(用語の箇条3に関連)
- 箇条 5. 絶え間なく進化する ITAM の世界。ITAM 実践者はそれと共に進化する必要があることを強調している。
- 箇条 6. 及び 7. ITAM の販売に関する考え方の問題とガイダンス。
- 箇条 8. ITAM 導入を開始する前の主な考慮事項。
- 箇条 9. 組織が ITAM を導入する方法に影響を与える可能性のあるさまざまなシナリオ。
  - 組織シナリオ
  - 技術シナリオ
  - シナリオ変更
- 箇条 10-12. ISO/IEC 19770-1:2017 で定義され, 以下の 1.2 の図に示されている 3 つの主要なプロセス グループ。
  - 箇条 10: 管理システムのプロセス
  - 箇条 11: ITアセットの機能管理プロセス
  - 箇条 12: ITアセットのライフサイクルプロセス
- 箇条 13. ITAM データ
- 箇条 14. 特別なトピック
- 附属書
  - 附属書 A: ITAM の理解の期待されるレベル
  - 附属書 B: ISO/IEC 19770-1:2017 の概要
  - 附属書 C: 関連規格の概要
  - 附属書 D: チェックリスト
  - 附属書 E: 可能な導入プログラム
  - 附属書 F: 資産ライフサイクル段階の提案
  - 附属書 G: ISO/IEC 19770-1:2017 の文書化した情報参照
  - 附属書 H: 指標
  - 附属書 I: OTAM (運用技術アセットマネジメント) 及び ITAM
  - 附属書 J: ISO/IEC 19770-1:2017 と ISO/IEC TS 19770-10 間の相互参照

参考までに WD の原文と翻訳版を添付する。

「ISO-IEC JTC 1-SC 7-WG 21\_N2219\_ISO-IEC JTC 1-SC 7\_N0\_ISO-IEC WD TS 19770-10

#### 4.6 SC7 Resolutions

SC7 の総会での決定事項の内, WG21 に関連あるものを以下に示す。

REF	RESOLUTION
23SC72730	JTC 1/SC 7 instructs its Secretariat to do whatever is necessary to appoint Stephane Joret (France) as Project Editor for ISO/IEC 19770-10 Information technology – IT asset management — Part 10 Guidance for implementing ITAM
23SC72742	JTC 1/SC 7 instructs its Secretariat to do whatever is necessary to issue, when available ISO/IEC 19770-6 Information technology — IT asset management — Part 6: Hardware identification tag for publication (subject to no technical changes after DIS ballot comments disposition).
23SC72743	JTC 1/SC 7 instructs its Secretariat to do whatever is necessary to issue, when available ISO/IEC 19770-10 Information technology — IT asset management — Part 10 Guidance for implementing ITAM for DTS ballot.
23SC72759	JTC 1/SC 7 instructs its Secretariat to do whatever is necessary to issue, when available Revision of ISO/IEC 19770-5 Information technology — IT asset management — Part 5: Overview and vocabulary Systems (3rd edition) directly for CD ballot. The revision will have no scope change. Project Editor : Peter Beruk (USA) and Co-Editor Ramesh Jain (India) U.N. SDG : Goal 8, 9 and 12 Target dates: CD ballot : 12 June 2023 DIS ballot: 6 Nov 2023 Publication: 4 Mar 2024 Further, SC 7 Secretariat will issue a call for participation for this project.

ACTION ITEMS	JTC 1/SC 7 to remove Jason Keogh (Ireland) and Richard Shephard (USA) as co-editors for ISO/IEC 19770-6 Information technology — IT asset management — Part 6: Hardware identification tag.
APPRECIATIONS	JTC 1/SC 7 extends its appreciation to Mr. David Bicket (UK) upon his retirement, for his significant cumulative lifelong contributions to WG21, where he served as Convenor, Project editor for 19770-1 (for two editions), and initial project editor for 19770-10.

#### 5. 次回会議予定

- Monthly Call : 6 月は中止、7 月以降は毎月の最終週水曜日に実施
- Interim Meeting : 15-16 Nov 2023, Utah, USA ( F2F with remote participation )
- Plenary Meeting : 26-31 May 2024 Berlin, Germany (Confirmed) – F2F with remote participation

以上